

令和7年度

那珂川沿岸地域用水営農推進講演会

と き : 令和8年2月26日(木) 14:00

と ころ : 那珂川沿岸用水管理センター会議室
(那珂川揚水機場)
茨城県水戸市飯富町5310

主 催 公益財団法人 那珂川沿岸土地改良基金協会
〒310-0002 水戸市中河内町958-1
029-227-0311 (tel&fax)
E-mail:mn.nakagawaengan@ai.wakwak.com
<http://www.nakagawatochikairyoukikinkyokai.com/>

講演会開催について

1. 主 旨

那珂川沿岸地域用水営農推進講演会は、将来における用水を活用した畑地かんがい営農の促進を図るとともに、那珂川沿岸農業水利事業に対する理解を目的としてます。

- ## 2. 参集者
- (1) 那珂川沿岸地域受益農家
(2) 関係国・県・市町村・JA職員ほか

		日	程
13:30	受 付		
14:00	開 会		
14:15	講 演		
	①内 容	有機農業の取組状況並びに用水活用事例のご紹介	
	講 師	野菜農園プラチナリーフ 代表 遠山 純一 氏	
	②内 容	「JA水戸農業が見る米の栽培課題と価格高騰・流通の現状及び今後の見通しについて」	
	講 師	水戸農業協同組合 営農販売部 販売課 課長 村澤 清唯 氏	
16:00	閉 会		

【本日の講師】

①野菜農園プラチナリーフ

代 表 遠 山 純 一 氏

経歴

平成31年 4月 日本農業実践学園 受講開始
令和 2年 3月 日本農業実践学園 受講終了
令和 2年 4月 JA水戸ネギ部会 会長(当時) 下でネギ栽培 実習開始
現 在 野菜農園プラチナリーフ 代表
JA水戸 有機農業研究会 会長

②水戸農業協同組合 営農販売部

販 売 課 課 長 村 澤 清 唯 氏

経歴

昭和63年 4月 内原町農業協同組合 入組
平成 5年 8月 水戸農業協同組合 合併
(JA水戸市、JA茨城町、JA内原町、JA常澄村、JA大洗町、JA常北町、JA桂村)
平成30年 2月 水戸市農業公社勤務 (出向)
令和 6年 2月 本店 営農販売部 課長 現在に至る

講演①

「有機農業の取組状況並びに用水活用事例のご紹介」

講 師

野菜農園プラチナリーフ

代 表 遠山 純一 氏

目 次

- 1、 自己紹介
- 2、 運営方針
- 3、 圃場の状況
- 4、 有機JASについて(概略)
- 5、 主要品目(有機野菜)の収量について
- 6、 出荷先
- 7、 従業員
- 8、 有機ナスの栽培状況
- 9、 有機カブの栽培状況
- 10、 有機にんじんの栽培状況
- 11、 圃場の水利について
- 12、 ナスの灌水について
- 13-1、 ニンジンの灌水について
- 13-2、 ニンジンの灌水について
- 14、 まとめ

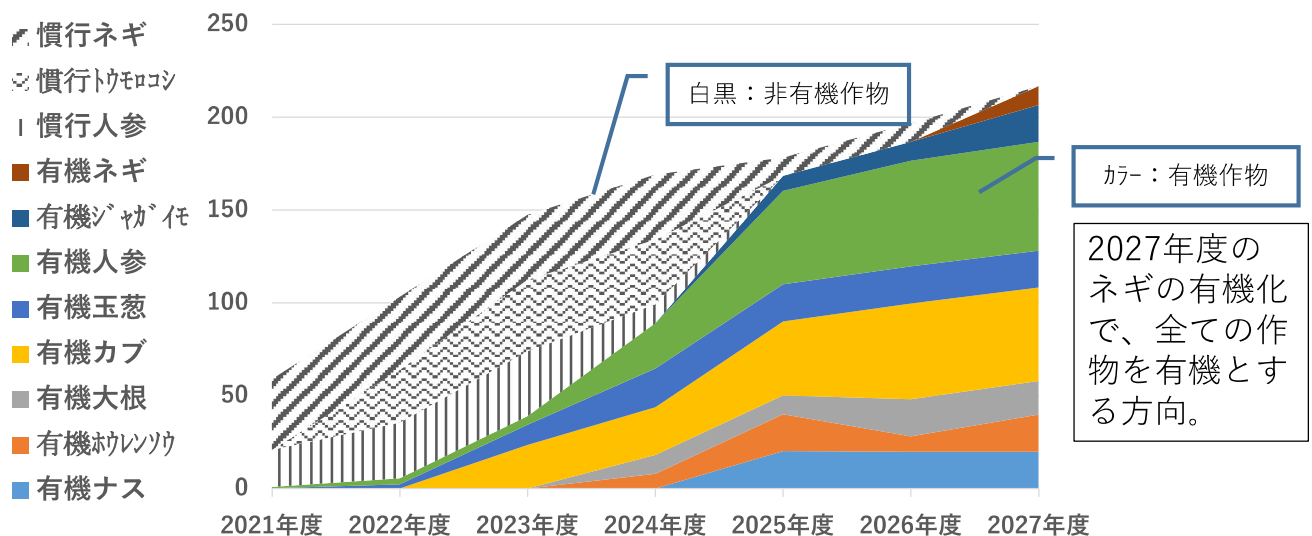
2. 運営方針

- ①高付加価値の商品を生産/販売
 慣行栽培からスタート⇒有機栽培にシフト
 価格の高い東京市場への販売を拡大

- ②経営規模の拡大
 従業員の定着化が必須
 オールシーズン収穫が可能となる品目数の拡大

3. 圃場の状況

品目別作付面積 (a)



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
有機JAS圃場面積	0	1	5	29	99	159	228
作付面積	59	103	148	189	209	238	238
総圃場面積	59	127	186	218	278	306	306

5. 主要品目(有機野菜)の収量について

2025年に有機JAS品として出荷したのは下の4品目。他の有機野菜は、未認証圃場で栽培しており、今春有機JASを取得予定。

品目	出荷重量	面積	収穫時期
ナス	3.2t	10a(注1)	2025年7月～9月
カブ	4.0t	35a	2025年11月～12月
ニンジン	1.7t	5a	2025年5月
	4.7t	20a(注2)	2025年12月～収穫中

(注1)圃場面積は20aだが、鉄パイプ/防風ネットによる囲みがあるため、実際の作付面積は10aとなる。

(注2)圃場面積は43aだが、現在収穫中のため出荷重量分の面積を記載。

6. 出荷先

(株)大治 (JA水戸経由)
(株)農業総合研究所
茨城県大同青果(株) (JA水戸経由)
水戸市学校給食 (JA水戸経由及び個人納入)
社会福祉法人 栄寿会 わかな保育園
JA水戸渡里直売所 「わたまる」

7. 従業員

5名 (パートタイマー)

1 1. 圃場の水利について



弊圃場がある畑地帯は、県営畑地帯総合整備事業により、道路に沿って水利が整備されている。

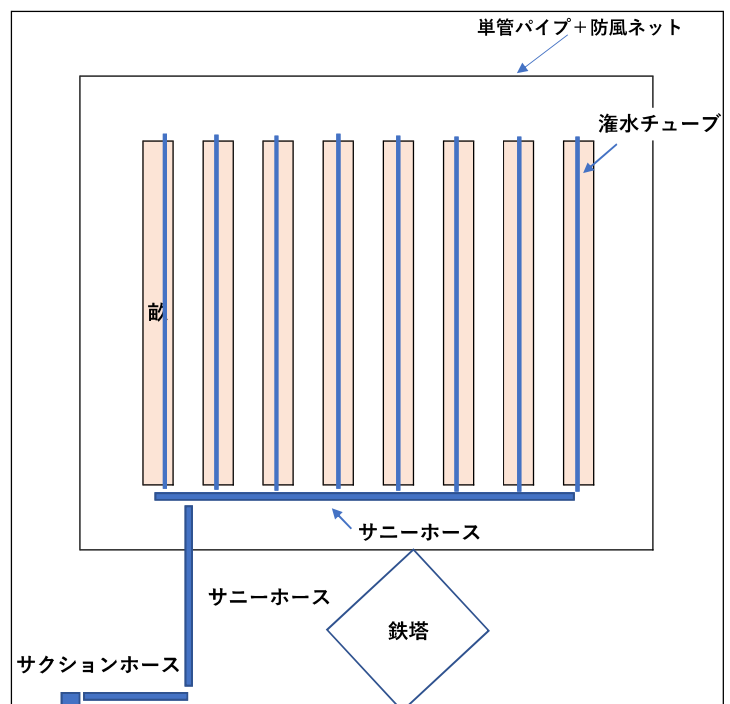


1 2. ナスの灌水について

用水の取水口からホースを繋ぎ、灌水チューブで灌水を実施。

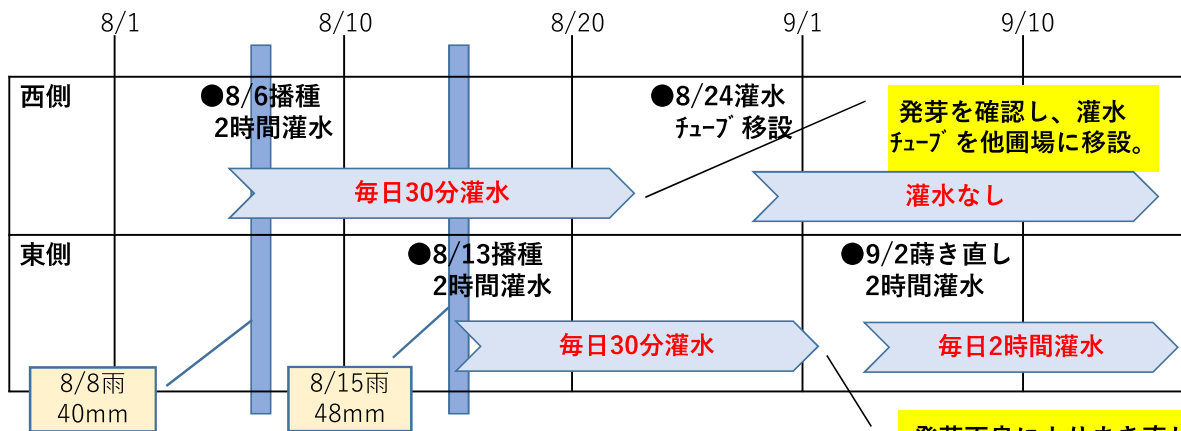
畝を立て、黒マルチを敷き、畝と黒マルチの間に灌水チューブを敷設した。

ナスは水を必要とする作物であり、特に高温で雨が少なかった昨年夏の灌水は、効果が大きかった。



13-1. ニンジンの灌水について

秋冬ニンジンの圃場は、灌水チューブを接地するのに2つの取水口を使用したため、西側と東側で播種、管理の日程がずれている。



西側は雨が2度あり発芽したが、東側は発芽不良で蒔きなおした。**高温少雨時は、1日30分の灌水では足りない。**

発芽不良によりまき直しを判断。灌水量を増やした。

13-2. ニンジンの灌水について

西側

播種時2時間、以降毎日30分灌水

株間は平均12~15cm程度

東側（蒔き直し後）

毎日2時間灌水

株間は平均7~9cm程度



14. まとめ

- ・売上拡大を目指して、高付加価値化(有機栽培)×規模拡大(多品種中量生産)を推進中である。
- ・多品種栽培を志向し、品目を拡大する過程において、ナス、ニンジン、のみならず、水を必要とする作物を手がける場合、水利を利用する効用は大きい。
- ・特にニンジンの発芽率を上げるには、自然降雨だけでは限界があることが明確になった。

講演②

「JA水戸農業が見る米の栽培課題と価格高騰・流通の現状及び今後の見通しについて」

講 師

水戸農業協同組合 営農販売部
販売課 課 長 村澤 清唯 氏

目 次

- 1、 自己紹介
- 2、 JA水戸について
- 3-1、 JA水戸における水田農業の作付動向
- 3-2、 JA水戸における水田農業の作付動向
- 4、 JA水戸における水稻品種(種子量)の推移
- 5、 JA水戸の農産物検査
- 6-1、 JA水戸における農産物検査の結果
- 6-2、 JA水戸における農産物検査の結果
- 7、 令和7・8年の主食用米等の需給見通し
- 8、 茨城県産コシヒカリ価格の推移(令和5年産米)
- 9、 茨城県産コシヒカリ価格の推移(令和6年産米)
- 10、 茨城県産コシヒカリ価格の推移(令和7年産米)
- 11、 今後求められる対策
《参考》令和7年 畑作物の生産・販売状況

2. JA水戸について

○JA水戸の概要(令和7年2月1日現在)

- 設 立・・・平成5年8月1日
- 沿 革・・・平成5年8月に、1市4町1村7JA
(JA水戸市、JA大洗町、JA茨城町、JA内原町、JA常北町、JA常澄村、JA桂村)
が広域合併

- 出 資 金・・・31億9,990万円
- 組合員数・・・23,780名(正10,344名、准13,436名)
- 役 員 数・・・理 事 28名(うち常勤理事3名、女性理事5名)
監 事 5名(うち常勤監事1名、員外監事1名)
正職員216名
- 職 員 数・・・常備的臨時雇用者155名

○主要事業実績

- 貯金・・・・・・・・・・1,403億1,880万円
- 貸出金・・・・・・・・・・382億9,732万円
- 長期共済保有高・・・3,257億6,585万円
- 購買品供給高・・・41億2,244万円
- 販売品販売高・・・82億9,617万円

3-1. JA水戸における水田農業の作付け動向

(令和2年産～令和7年産)

【水田における品目別作付状況・JA管内合計】(水戸市・茨城町・城里町・大洗町) (*は二毛作を含む。(ha))

年産	水稻作付面積					計
	①主食用米	②備蓄米	③加工用米	④米粉用米	⑤新市場 開拓米	
02年産(2020)	5,362	25	10	5	26	5,428
03年産(2021)	5,510	1	10	3	16	5,540
04年産(2022)	4,949	0	10	5	26	4,990
05年産(2023)	4,939	2	11	3	24	4,979
06年産(2024)	5,093	0	11	3	29	5,136
07年産(2025)	5,222	0	5	1	0	5,227

年産	青刈面積			畑作物作付面積				計	合計
	⑥飼料用米	⑦WCS	計	⑧麦	⑨大豆 (*)	⑩飼料作物 (*)	⑪そば (*)		
02年産(2020)	658	123	781	292	57	31	4	384	6,593
03年産(2021)	640	124	764	298	51	30	5	384	6,688
04年産(2022)	1,069	143	1,212	292	54	29	7	382	6,584
05年産(2023)	1,016	149	1,165	280	38	31	7	356	6,500
06年産(2024)	754	145	899	279	27	28	11	345	6,380
07年産(2025)	315	118	433	251	199	37	8	496	6,156

3-2. JA水戸における水田農業の作付け動向

○JA水戸における令和7年産水稻生産量(推定値)

	作付面積	単収/10a	収穫量	袋換算数
主食用米	5,220ha	530kg	27,666,000kg	922,200袋
飼料用米	315ha	530kg	1,669,500kg	55,650袋

4. JA水戸における水稻品種（種子量）の推移

播種年産	令和6年産播種用	令和7年産播種用	令和8年産播種用
品種名	割合	割合	割合
コシヒカリ	57.7%	56.6%	54.1%
あきたこまち	7.0%	6.1%	6.7%
ふくまるSL	5.3%	6.9%	7.9%
ゆめひたち	2.0%	0.9%	0.5%
チヨニシキ	5.3%	6.9%	7.9%
一番星	0.2%	0.1%	0.1%
あさひの夢	0.0%	0.0%	0.0%
にじのきらめき	10.0%	17.3%	24.9%
日本晴	0.0%	0.0%	0.0%
ミルクークイーン	0.9%	1.0%	1.0%
マンゲツモチ	1.9%	1.7%	1.6%
ココノエモチ	0.1%	0.1%	0.0%
ヒメノモチ	0.2%	0.2%	0.2%
ひたちはたもち	0.5%	0.0%	0.2%
ゆめあおば	4.4%	2.7%	0.9%
月の光	1.1%	0.3%	0.1%
あきだわら	5.9%	5.2%	1.8%
ひたち錦	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%
総キロ数	101,536kg	120,552kg	127,544kg
前年比		19,016kg	6,992kg
換算面積(10a/3.5kg)	0	543ha	200ha

←近年ふくまるが増加傾向

←近年にじのきらめきが増加傾向

近年の高温の影響による品質低下から高温耐性品種への転換が見受けられる。

コシヒカリ・・・減少
ふくまる
にじのきらめき } 増加

5. JA水戸の農産物検査

JA水戸の農産物検査
令和7年8月27日初年度検査
JA水戸 農産物検査員 程度統一会
JA水戸 常澄低温倉庫前



6-1. JA水戸における農産物検査の結果

○等級比率

年産	R5			R6			R7		
	1等	2等	3等	1等	2等	3等	1等	2等	3等
品種名称									
コシヒカリ	75%	24%	1%	81%	18%	1%	59%	36%	5%
あきたこまち	80%	18%	2%	42%	58%	0%	40%	46%	15%
ふくまる	78%	21%	2%	76%	24%	1%	70%	28%	2%
にじのきらめき	76%	0%	24%	69%	31%	0%	60%	34%	5%
チヨニシキ	60%	39%	0%	47%	47%	6%	66%	34%	0%
ゆめひたち	21%	71%	7%	26%	65%	9%	14%	61%	25%
合計	65%	29%	6%	57%	40%	3%	51%	40%	9%

	R5	R6	R7
全国の1等比率	60.9%	76.30%	75.5%
茨城県の1等比率	55.9%	55.50%	54.7%
	(確定値)	(確定値)	(速報値)

○品位低下の原因

- ・高温による乳白粒の増加
- ・カメムシ類による着色粒の増加
- ・水ストレスによるくさび米の増加
- ・高温による適期収穫の遅れ形質低下



高温障害等回避に関する検討が必要



研修会の開催

6-2. JA水戸における農産物検査の結果



(乳白米)



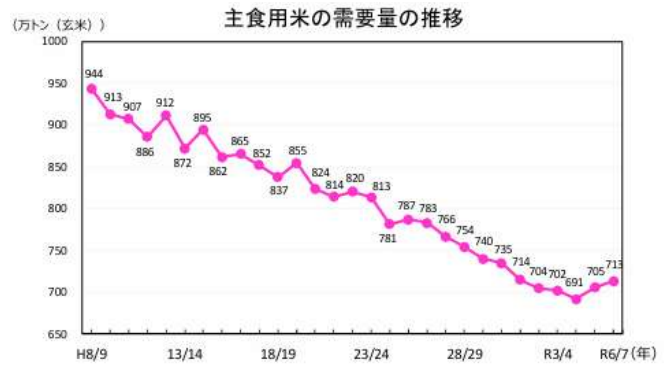
(くさび米)



(着色粒)

7. 令和7・8年の主食用米等の需給見通し

		玄米ベース (万トン(玄米))	精米ベース (万トン(精米))
令和7 /8 年	令和7年6月末民間在庫量	A 155	138
	令和7年産主食用米等生産量	B=C+D 748	662~670
	うち生産者ふるい目幅以上	C 715	
	うち生産者ふるい目幅未満のうち、 主食用米への供給見込量	D 32	
	令和7/8年政府備蓄米供給量	E 23	21
	令和7/8年主食用米等供給量計	F=A+B+E 926	822~829
	令和7/8年主食用米等需要量	G 697~711	624~631
	令和8年6月末民間在庫量	H=F-G 215~229	191~205



●民間在庫量が増加した原因

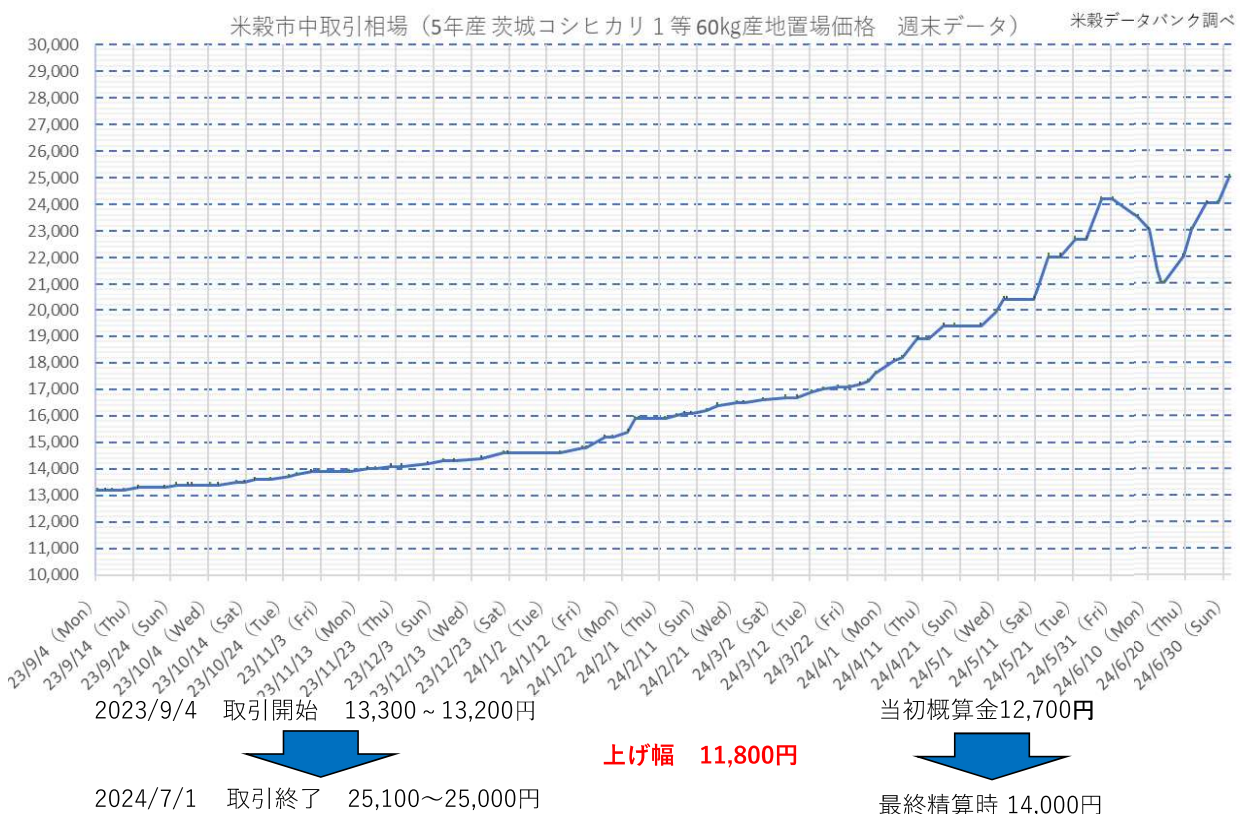
- 主食用米の消費減退
- 令和7年産米の米価高騰により、飼料用米から主食用米へ大幅な回帰があった。
(主食用米作付面積増)
- 政府備蓄米(入札米・随意契約米)の放出
- 輸入米の増加



- 主食用米市場が飽和状態になっている。
- 年度末(決算)に向け米在庫の現金化
- 3月下旬より暖候期になることから、常温倉庫保管米・農家保有米の放出

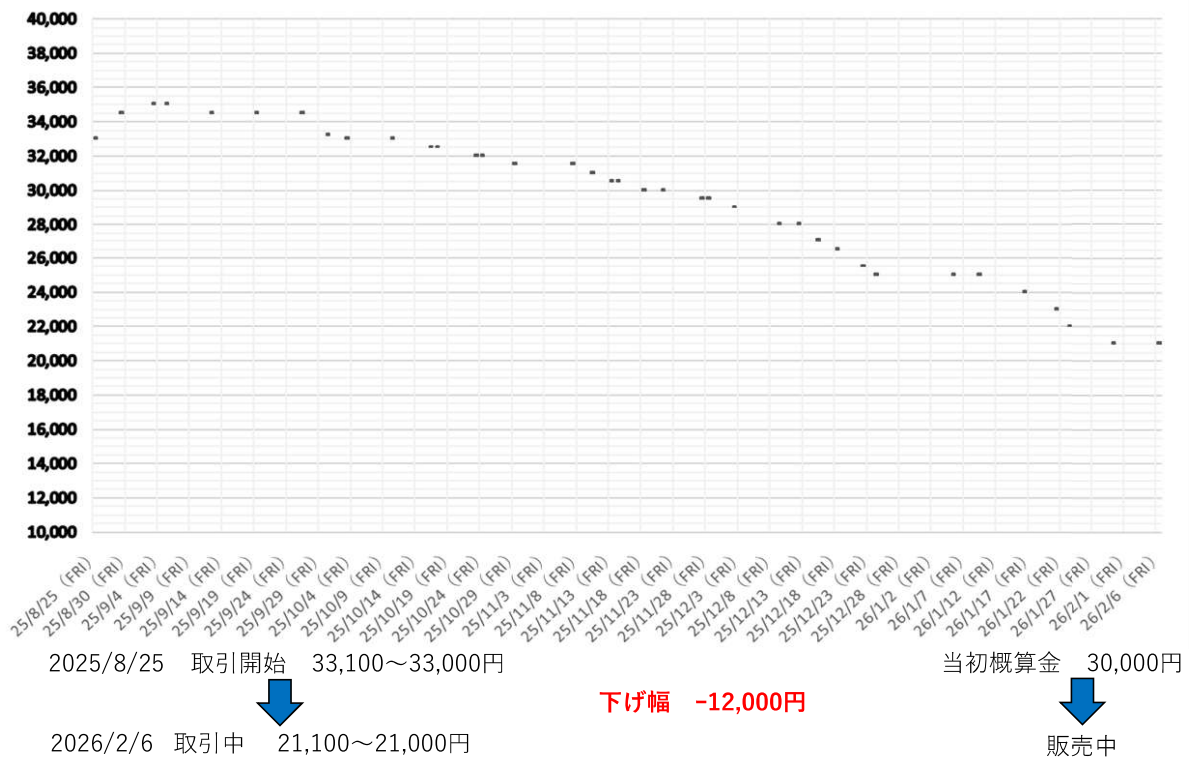
見切り販売
更なる米価落の
恐れあり

8. 茨城県産コシヒカリ価格の推移 (令和5年産米)



10. 茨城県産コシヒカリ価格の推移（令和7年産米）

米穀市中取引相場（7年産 茨城コシヒカリ1等 60kg産地置場価格 週末データ） 米穀データバンク調べ



11. 今後求められる対策

○米価の安定・下落防止対策

- ・ 需要に応じた米の生産が必要
実需が求める米の生産（播種前契約栽培米）
国が公表する需要と供給に関する正確な情報提供・水田活用米穀の拡大
水田活用米穀の拡大
- 飼料用米
- 新市場開拓米(輸出用米)
- 加工用米



解決するには、適正な米の販売価格。
米の販売価格に対応した交付金の拡充が必要。

○米穀品質向上対策(高温対策)

- ・ 高温耐性品種への切替（ふくまる・にじのきらめき など）
- ・ 高温障害を回避する資材情報の提供と利用
- ・ 高温障害に関する講習会の開催（組合員対象）
令和7年度においては、7月1日・3日に開催 約250名の生産者が参加
今年も高温対策に関する講習会開催します。
（ご協力：茨城県農業総合センター・水戸地域農業改良普及センター・全農いばらき）

3月	4日	9:30	茨城町桜の郷コミュニティセンター
3月	4日	14:30	JA水戸常澄大洗支店
3月	11日	9:30	JA水戸本店
3月	11日	14:30	城里町桂町民センター

《参考》令和7年 畑作物の生産・販売状況

しょうがの生産・販売
令和7年度 しょうが実績

	生産者数			面積			総収量		
	R6	R7	増減	R6	R7	増減	R6	R7	増減
西部	14人	8人	-6人	109 a	72 a	-37 a	49,295kg	16,395kg	-32,900kg
東部	2人	2人	0人	25 a	25 a	0 a	6,675kg	2,625kg	-4,050kg
南部	43人	39人	-4人	646 a	542 a	-104 a	253,605kg	89,850kg	-163,755kg
北部	28人	20人	-8人	252 a	216 a	-36 a	83,640kg	39,915kg	-43,725kg
合計	87人	69人	-18人	1,032 a	855 a	-177 a	393,215kg	148,785kg	-244,430kg
	79.3%			82.8%			37.8%		

	販売額			反収/kg		
	R6(220円)	R7(245円)予測	増減	R6	R7予測	増減
西部	8,639,400円	4,016,775円	-4,622,625円	4,522kg	2,277kg	-2,245kg
東部	1,171,500円	643,125円	-528,375円	2,670kg	1,050kg	-1,620kg
南部	48,107,400円	22,013,250円	-26,094,150円	3,926kg	1,658kg	-2,268kg
北部	18,786,900円	9,779,175円	-9,007,725円	3,319kg	1,848kg	-1,471kg
合計	76,705,200円	36,452,325円	-40,252,875円	3,810kg	1,740kg	-2,070kg
	47.5%			45.7%		

減少の主な要因

高温による水不足

水利(水)灌水対策が必要(水が欲しい時に利用できる環境が急務に)



※水田においても同じ

しょうがの他にも茄子、秋冬人参、大根・・・